

◆安く滞在する3つの方法◆

高い物価、高い移動費用は仕事がない状態でははっきり言ってダメージでしかありません。

みるみるうちに資金がなくなり、かつ仕事は履歴書を配れども配れども見つからず、ワーホリが終わった・・・なんていう人たちはなかなか日本人に限らず見てきました。

そうならないためにも3つの画期的なアイデアがあります。常に行動しながら考えることをしていないとすぐにワーホリは資金が尽きるとともに終わってしまうんですよ。

「知ってる」か「知らないか」がワーホリにおいての充実度や成功度を上げるポイントです。

それでは解説です。

アイデア no.1

WWoof (ウーフ)

正式名称 Willing Workers On Organic Farms (オーガニックファームで働く意思のあるもの)

どうも上はかなり有名ですね。でも意外に日本人は知りません。海外から来たフランス人やイタリア人はほぼ知っています

本家本元のイギリス人は(イングランドのひ人も)まずもってきていますし、現地に行ったらまずウーフに直行！という感じです。

ヨートファームではトムというイングランド人がいましたが、ウーフでは履歴書を送りつつウーフで滞在費を浮かせて仕事を探していくというスタイルでした。外国人のあいだではこれ基本なんです。

ただ難点としては当たり外れが多いことが何点でしょうか？ウーフでも一日働いたというカウントをするには4~6時間働かなくてははいけません。

ほとんどのワーホリメーカーはあんまりただで働くことに好感を持ってないのでフルーツピッキングに行ってしまう。

ただ滞在費を浮かすということを念頭に置くなら一番ベストでしょう。あと結局移動費がかかるので近場にフルーツピッキングや何かしらの仕事が発生するところに行くのがベストでしょう。ちなみにウーフというのは厳密に言うとタダでこの制度を使えるかという点と違います。

年間登録料というものが各国のウーフを運営しているサイトに支払うか、取り扱っている各エージェントの拠点で購入することで手に入れることができます。

為替の状況もよりますがオーストラリアは値上げされています。郵送なので多少のタイムラグがあるということをお忘れなく。

ペイパルからの支払いであればすぐにホストと連絡は取れるようになります。

そしてウーフオーストラリア→www.woof.com.au/

現地で速く欲しい人は私が知る限りここで手に入ります→www.worknholiday.com/

ワーキングホリデーセンター という場所です。

ここでは入会金が 195ドルありますし入ったからといってそれほどいい求人を握っているかと言われればそうではないです。しかし割高の 65ドルを払えばウーフブックを手に入れることができます。この場合は入会金は別です払わなくて大丈夫です。

アイディア no.2

カウチサーフィン→www.couchsurfing.org/

これは一応無料なのかと言われるとそうでもないらしい。食費は割り勘が基本だそうです。これは結構旅人のあいだでも有名なのですが日本人は知らない人が多いです。

概要はおよそ14年前に一人のアメリカ人がアイスランドでホテルに宿泊する費用をケチってアムステルダムに学生に「泊めてくれ」とメールをしたらかなりの数が OK！！という返事をくれたことから生まれた旅人のためのサービスです。

これを利用して世界に無料で泊めてくれる人を募るサイトを作ったのがきっかけで広まったのがカウチサーフィンです。本当にアメリカ的な発想ですね。

サイト見てみましたが、変わっていました。泊まる側も泊める側も相当な警戒がありますね。特にプロフィールの入力欄が細かい細かい。あと重要なのがとめてもらった人からのレビューです。

見ず知らずの外国人は絶対に家に入れたくないですよ？なので必ず泊まったらホストが評価を入れるようです。

そのほか身分の確認に関する項目や泊まる地域、関わる人を仕事欄から選べたり、食事がコーヒーだけとか・・・本当に事細かに設定できます。裏を返せばそれだけ見ず知らずの他人、しかも

外国人を泊めるというのは神経使うんです。

旅人デビューしたい人、しかもひとり旅に向いていますね。ホストの受け入れの状態を見るところそんなに多くの受け入れができないようです。カウチサーフィンのみで旅をしている人もいますね。

ただ事件もあったようです 2009 年にアジア人女性がモロッコでレイプをされ、訴訟を起こした事件。あとは無料なので外国人はやりたい放題しているところもあるようです。カウチサーフィン

ウーフも当たり外れありますが、カウチサーフィンの方が危ないようです。女性は本当に気をつけましょう。

3 フリーアコモデーションを探す

フリーアコモ(以下フリアコ)

これは形態によります。仕事をする代わりに滞在費がタダというもの。中には少しだけお金がもらえるところもあれば工場の社員寮のようなところで働くこともあります

ウーフとも似ていますが実は違います

中には south mool island というところで皿洗いができるところもあるとそこで働いていた友人もいました。滞在費が浮かせることができて多少の給料も手に入るというなんとも好都合なところ。です。

探し方は symply hired というサイトの写真のようにキーワードを入れます。

写真では「work for free accommodation」です。

The screenshot shows the SimplyHired website interface. At the top, there is a search bar with the text 'work for free accommodation' entered. To the right of the search bar is a 'Location' field with a dropdown menu set to 'AUS'. Below the search bar, the results are listed under the heading 'work for free accommodation jobs'. On the left side, there is a sidebar with filters for 'Date Posted', 'Title', 'Company', 'Job Type', and 'Education'. The main content area displays three job listings, each with a title, location, salary, and a brief description. The first listing is for a 'Chef De Partie & Breakfast Chef' in Roma, QLD, with a salary of '\$50K PLUS Super' and 'Free Accommodation'. The second listing is for a 'Retail General Manager' in Multiple Sites, Remote NT, with a salary of '\$98K & Free Accommodation'. The third listing is for a 'Baker' in Cairns, QLD, with a salary of 'Up to \$50K super free accommodation'. Each listing also includes the company name and a link to the job details.

するとこのように出てきますのでここからは地道にローラー作戦です(全部に応募すること)・・・
そして何かしらいい返事や引っかかったところに行きましょう。

インド人から教わった言葉ですが、「チャンスはつかんでみてつかみながらそのあとを考える」ということを教わりました。

選択肢が日本ほど多くないのがオーストラリアでもあるで、まずは思うように仕事が見つからなかったりして滞在を優先しなければならないという時には上記のように片っ端から応募をしてみるということからしかなにもはじまりません。

英語に自信があるなら YHA のスタッフとかも狙っていても面白いですよ。YHA に無料で泊まれるのが魅力です。YHA で働いたとなればかなりのアドバンテージでもあるのではと思います。

◆渡航前にバックパッカーズホテルを予約しよう

<http://www.yha.com.au/>←オーストラリア

<http://www.jyh.or.jp/>←日本語サイト

上記はメジャーな YHA の予約サイト。あえて日本語のものを載せています。到着する空港に対して近いところ検索していきましょう！

[YWCAの予約ができるフォーム](#)

YWCA は女性の地位の向上を目的として立ち上げられた組織です。1905 年に発足し、それ以降世界に広がっていきました。

バックパッカーホテルよりはランクが高いため女性の方は安心して泊まれると思います。

[ブッキングドットコム](#)

ちょっとだけ旅慣れしている人向けのサイト

バックパッカーズホテルがいろいろ探せて易い場所も探せます。オーストラリアでしばらく過ごしたあとから使うのがおすすめです。

◆バックパッカーズホテルってどんなところ？

シドニーのレールウェイ YHA



上の写真はシドニーの YHA のなかでも実はかなり綺麗な部類に入ります

ちょっとわかりづらいですが上の写真右側がロッカーになります・・・ロッカーという位置づけなようですね、オーストラリアでは。ただしたのに取っ手が二つあってその下に南京錠があるともいます。こう言う防犯のものは備え付けはありませんので自分で用意しましょう！

中は２段ベッドが入っているところ。海外ではこれが主流で個室が高いんですよ。このような感じで受付でシーツとリネンを渡されて空いているベッドは上のようにシーツがありません。二段ベッドの手すりに洗濯物を干すような感じです。あんまり清潔好きな人は遠慮したほうがいいかもしれませんね

ちょっと安くしてみて探すと YHA の次に「bace」という系列のバックパッカーズホテルがあります。こちらは趣旨としては「遊ぶ人向け」のホテルですね。写真はブリスベンの支店の一番安い「ドミトリ」という人部屋を複数人でつかうところです。（写真は 16 人でシェアをしているところです）

この系列は必ず地下にナイトクラブが併設されていていつことが多いのであんまり静かに過ごすことができません！朝の４時までうるさいということがほとんどです（金曜日はもっとすごい！）あんまりおすすめしません。

しかもロッカーもちゃんとひとりひとりに行き渡るものではないのではっきり言ってあんまりよくないところです。実際にこういうところで貴重品が盗まれてしまったり、特に PC の盗難が多いので気をつけて過ごしましょう。



※地味に右側の写真の靴たちがにおっていたりしました・・・

ベッドバグに注意

オーストラリアの観光業に大きな打撃と警戒を与えているものがあり、それが「ベッドバグ」というカメムシを少し小さくしたような厄介な虫です。

日本名は「トコジラミ」という滅多に日本では見かけない虫ですが、オーストラリアにはうようよいますし、フルーツピッキングから帰ってきたバックパッカーが都市部に持ってくることもたまにあります。



都市部でもフルーツピッキングから帰ったバックパッカーが都市部のホテルに持ち込んでそのホテルで繁殖するということになるということがまれにあります。

なので天井の四隅、ベッドのマットレスのチャックのところに黒い小さな虫がいたら即レセプションに言いましょう！えらい目に遭います！！

これを持ち歩いてしまうと損害賠償を請求されてしまうので自分が持ってきたわけではないなら見つけた時点でアピールしましょう！

一晩たったあとでは自分のせいにされます。「あいつがベッドバグ持ってきた！」ということにならないように、めったにないことですが細心の注意を払ってベッドを選ぶようにしてください、特に安いバックパッカーホテルに行った時やフルーツピッキングで宿泊した施設では気をつける必要があります。

お金を出して宿泊したからといっても安心がないのがオーストラリアです。

十分に気をつけて行きましょう！